

1. 日時：令和7年2月12日（水）11：00～12：20

2. 場所：室蘭工業大学 本部棟3階 小会議室

3. 出席者

（委員）

委員長 谷口 雅子（国立大学法人室蘭工業大学 監事）

委員 相田 俊一（国立大学法人室蘭工業大学 監事）

委員 安藤 俊典（株式会社元気な介護 経営企画室）

（説明者）

経理課長、経理課調達係長

（進行役）

監査室監査係長

（記録）

監査室監査係

4. 審議事項

審議事項1 競争性のない随意契約における随意契約事由の妥当性について

審議事項2 競争入札のうち、一社応札又は一者応募であった入札の競争性確保の妥当性について

5. 審議対象

審議対象契約案件は、契約金額が500万円以上の契約の中から委員長が選定した。

対象期間は、令和5年4月1日～令和6年3月31日。

6. 委員会による意見まとめ

契約承認プロセスに重要な問題は認められなかったが、随意契約においては、契約手続きの際にも、企画競争（プロポーザル方式）に係る留意点（※）をより活用してPDCAサイクルを効果的に回していただきたい。

また、競争入札においては、応札業者だけでなく、類似の取引実績を確認できた業者からも可能な限り参考見積書を徴収する工夫等、継続的な見直し・改善をすすめていただきたい。

※企画競争（プロポーザル方式）に係る留意点

⇒企画競争（プロポーザル方式）による随意契約とする場合の留意点（上限額設定や提案に対する評価等）について整理した学内文書〔令和5年度契約監視委員会での提言を受け、令和6年2月に経理課にて作成されたもの〕

7. 委員からの質問・意見、それに対する回答等を【Q】と表記する。

経理課の説明を【A】と表記する。

審議事項1 競争性のない随意契約における随意契約事由の妥当性について

※当契約は、「契約業者からの参考見積書」をもって予定価格を算出した。

- 【Q】昨年整理された企画競争（プロポーザル方式）に係る留意点については、公募等手続きの他に選定業者との契約手続きの際にも活用されているのか。
- 【A】昨年整理した留意点については、企画競争の公募等を行う際の目安として担当の部署に対して周知しているが、今回対象の契約は、留意点整理前の案件であり、業者選定理由等についての確認を主としており、活用するには至っていない。
- 【Q】留意点が活用された場合には、今回とはまた異なる結果となり得ることも考えられる。妥当性を検証する上でも、選定業者と契約手続きを行う際にも、公募から評価結果までのプロセスと留意点との整合性について再確認する等、今後は留意点をより活用してPDCAサイクルを効果的に回していただきたい。
- 【意見】契約承認プロセスに重要な問題は認められなかったが、随意契約においては、契約手続きの際にも、企画競争（プロポーザル方式）に係る留意点をより活用してPDCAサイクルを効果的に回していただきたい。

審議事項2 競争入札のうち、一社応札又は一者応募であった入札の競争性確保の妥当性について

※当契約は、「納入実績による積算」と「応札業者からの参考見積書」を比較検討し、予定価格を算出した。

- 【Q】応札業者だけでなく、他大学への納入実績照会等で類似の取引実績を確認できた業者からも参考見積書は徴収されているのか。
- 【A】納入実績による積算のための参考として取引実績を確認しているものであり、新たな参考見積書を徴収するものではない。
- 【Q】競争性を確保する観点から、仕様策定はかなり早い段階から準備しておく等、入札期間をより長く確保するための工夫等はされているのか。
- 【A】仕様策定を早い段階から準備していくことは望ましいことではあるが、個々の契約案件でそれぞれの財源や予算規模、納品希望時期等が異なるため、早い段階から準備することができない契約案件もあり得る。
- 【Q】競争性確保の妥当性を検証する上でも、仕様策定は早い段階から準備しておき、入札期間をより長く確保する等、継続的な見直し・改善をすすめていただきたい。
- 【意見】契約に関する処理に重要な問題は認められなかったが、応札業者だけでなく、類似の取引実績を確認できた業者からも可能な限り参考見積書を徴収して比較検討する、仕様策定は早い段階から準備しておく工夫等、継続的な見直し・改善をすすめていただきたい。

以上の審議を終えて閉会した。